

三鷹市議会議員

# 野村 のむら ようこ 羊子



といっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.59

## ■総務委員会(1/30)

### ・「消費税増税中止意見書提出を求める請願」

請願者3名の補足説明があった。質疑をしたのは例によって野村と共産党岩田委員のみ。その後採決。残念ながら自民公明民主の反対で不採択となった。

### ・「防災公園整備事業」 企画部報告。

今まで公表されていた推定値から、今年度は当初+補正予算、来年度は当初予算見込み額へと変更。実施設計が固まったので、ほぼ固まった数字だという。全体事業費は220億+その他事業費20億で、概算は変化なし。

今年度は複合施設建設予定地の用地購入費として市債約38億を発行。来年度は23億に収める見込み。しかしその先はまた35億前後の借金を2年間重ね、総計147億となる。市税収入が伸び悩み、かつ市内有数の法人の転出予定。老朽化した施設の更新・維持補修事業も次々生じてきている。(次ページへ)



## <3月議会日程>

- 2/22 議会運営委員会
- 2月27日(水) 本会議(一般質問)
  - ※第1回請願・陳情締め切り
- 28日(木) 本会議(一般質問)
- 3月1日(金) 本会議(議案等上程、施政方針)
- 3/5 議会運営委員会
- 6日(水) 本会議(議案審議、予算代表質疑)
- 7日(木)~11日(月) 常任委員会
- 12日(火)~19日(火) 予算審査特別委員会
- 21日(木) 東京外環道路調査対策特別委員会
- 22日(金) 調布基地跡地利用対策特別委員会
  - ※第2回請願・陳情締め切り(正午まで)
- 3/25 議会運営委員会
- 28日(木) 本会議(予算審査特別委員会審査報告、議案等審議)



# 春の いっしょ 音広場



2013年3月23日(土)13:00~16:00

絵と音楽と話 ;またたびアンサンブル

ライブ :Kano-band

うた :館野公一

読み語り:ひつじ

...and more



三鷹市公会堂別館 3F多目的室

入場無料・出入り自由  
cafe・軽食等販売あり

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会

issyonokai@nomura-yoko.net

Tel & fax 0422-72-2425

三鷹市下連雀3-30-12-104



(前ページから) 公債費(借金返済額)の将来見通しは減少とするが、井口などの市有地売却額を67.5億として、借金から差引くなど単なる数字あわせ。実数を踏まえた上で、売却額は余裕とするべき。

・「地域防災計画」改定素案 総務部報告。

3. 11の最大の教訓は、と聞くと、開庁中の発災との答え。夜間にどう参集するかは考えていたが、保育園等通常の業務を継続しながら災害対応したこと、と。予防や減災にも言及しているが、最後は柔軟な現場対応だと感じた。



■厚生委員会(2/8) 傍聴

・保育料改訂 子ども政策部報告

来年度保育料を値上げ。所得税による階層を変更し平均11.9%増。但し、年少扶養控除廃止前の所得税額で算定。年少扶養控除廃止後で算定の今年度より中間層は値下げ、昨年度と比較すると若干の値上げ。

・北野ハピネスセンター 健康福祉部報告

医療ケアを現在の看護婦配置で来年度より実施。成人部門を前倒して民間委託する。重度化のニーズ対応できていない状況がある中、単なる経費・人件費削減ではなく、専門的ケアを実施する運営委託事業になるのか、注視していきたい。

■外環特別委員会(1/25)

・機能補償道路説明会

2/13, 15, 16の3日間、オープンハウスにて国交省が開催。素案を提示し意見聴取する。



現在、調整中なのでと資料は回収された。

\*2/7の世田谷区東名JCTでの説明会でも、アンケート用紙の裏面に資料が印刷され、回収される。市民の声でようやく持ち帰りOKとなった。

・都市計画道路説明会

2/14夜、東京都主催。JCTに分断される吉祥寺通りの代替えとして新たに都市計画道路を建設。中央JCTでは4カ所目の道路建設事業。

■ 3. 11いのちを想う「誓いのキャンドル・ナイト」三鷹で実施予定。ごいっしょに!

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会newsNo.59  
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104  
Tel&Fax:0422-72-2425  
E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net  
Url: http://www.nomura-yoko.net  
Twitter: https://twitter.com/#!/hitujinomura

◆女性議員パワーアップ講座全国フェミニスト議員連盟主催。スタッフとして参加。

・第1講「就学援助」。要保護児童分は国がみる。準要保護については自治体がやる。内容が自治体によって差が出る。教育の名ばかり無償化で機会を奪われる子どもたちがいる。

・第2講「社会保障」講師；大沢真理東大教授。日本の税と社会保障の実態を、データを元に解説。



日本はバブル後、一貫して貧困が増えている。女性賃金差別があるため、夫婦二人で働いても貧困。効果が見え始めたところで政権交代。消費税でより低所得者層に税負担がしわ寄せする。残念。

所得格差が大きい社会では、他人への信頼感が低い。日本は先進国の中で最低の32.3%。7割の人が他人は信用できないという社会で良いのか。

特定層への現金給付ではなく、医療・福祉や教育の無償など、社会保障全般の充実の方が、格差解消・貧困解消には有効と話された。

・第3講スクールソーシャルワーカー(SSW)。

・第4講は公契約条例

全国から60人を超える参加者で、話の内容もさることながら、交流によってエンパワーされた1日だった。



◆政治参画フォーラム

・「自治体財政の健全性確保は議会の責任 - 2013年度予算審議を前に」「自治体議会の役割・責任の拡大 - 縮小する議会・拡大する役割」講師；菅原敏夫地方自治総合研究所員。

・「秦野市公共施設更新問題への挑戦」講師；秦野市職員。秦野市は公共施設の老朽化を前に施設縮減により必要性の高い施設の持続可能性を生み出す再配置に取り組む。「公共施設白書」を作成。市長マニフェストに新施設をつくらないとあったため全庁的に取り組む。客観的データで前例・縦割りにとらわれず複合化、効率化のアイデアを出す。優先順位をつけ40年の超長期計画。長寿寿命化は負債の先送りでしかない。民間との連携で余力を生み出すことを考える。参考になる。